

地域材を用いた住宅の内覧会・意見交換会の開催

南部アカマツ振興センターでは、天然アカマツ材を用いた高級化粧たいこ梁、平角材を主とする地域材の活用を、県内の設計・工務店関係者へPRするため、平成20年9月17日に住宅内覧会を実施しました。併せて、地域の林業、製材関係者と設計・工務店関係者の意見交換会を実施しました。

住宅は、床面積110m²、部材としてアカマツ(梁桁、野地板、間柱)、スギ(柱、間柱)、クリ(土台、柱)、ケヤキ(化粧柱)を用い、地域材使用量は坪当たり0.95m³となっております。

内覧会では、①住宅の木材使用量、②坪単価(約50万円)、③アカマツたいこ梁の含水率、価格(約25%、10万円/m³)などの説明が行われました。

また、意見交換会では、地域材の利用に関して、設計、建築側から、①部

材仕様は設計段階以外に、工務店とその連携製材工場が決定する、②米松、北洋アカマツは利便性が高い、③含水率20%以下でなければ建築部材としての利用は難しい、④たいこ梁の利用は流通、加工等の都合があり検討を要する、⑤実施設計から建築までが短期間(60日間)であるため、部材の納期が知りたいなどの意見が出されました。

製材側から、①天然乾燥には時間がかかる、②人工乾燥の燃料コストが急騰、③小ロットの受注には対応できない、④アカマツは青変発生のため10-3月に伐採が限定、⑤アカマツ梁材は乾燥の進行に伴い、割れが発生するなどの意見が出されました。

今後は、地域企業体の連携方策の検討、ジャパンホームショーへの出展等を行う予定です。



写真1 天然アカマツ高級化粧たいこ梁



写真2 内覧会の様子